

氏名	會田 みゆき	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	成人看護学				
学位	修士(保健学)				
学歴	1986年弘前大学教育学部特別教科看護教員養成課程、 2014年女子栄養大学栄養学研究科保健学専攻修士課程				
経歴	1986年虎の門病院看護師、1989年埼玉県立衛生短期大学看護学科助手、1997年埼玉県立衛生短期大学看護学科講師、1999年埼玉県立短期大学看護学科講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、 2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会(役職)	日本看護研究学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本糖尿病学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	看護学入門 8巻 成人看護 I (第4版)	共著	あり	メヂカルフレンド社、32ページ	小林寛伊監修／飯岡由紀子編集	2019.11
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	看護場面における臨床推論力を高める教材作成に関する研究	共同	埼玉県立大学奨励研究報告書(2019年度)		○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2020.2
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	リハビリテーション看護	○	2	科目責任者として、講義(一部演習)の企画、運営を行った。リハビリテーション看護に関連のある専門分野についてオムニバス形式の授業を展開できるよう他学科の教員への担当依頼、講義内容の調整を行った。		
2	成人看護学Ⅳ		8	慢性の栄養・代謝機能障害をもつ患者の看護について、講義、TBLで実施した。学生の知的関心の喚起につながる授業、分かりやすい授業、学生が授業参加を実感できる授業になるよう資料内容および提示方法、発問の工夫等に努めた。担当する講義・演習につながる他の授業へ参観したり、他の授業内容の資料を入手し、授業内容の把握に努めた。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	臨床実践看護		5	科目担当者として、突発事象を含む多重課題演習を担当した。		
2	リハビリテーション看護	○	2	内部障害のある患者へのアプローチとして、排泄機能障害(人工肛門造設)を有する患者をテーマとし、ストーマ管理の演習を担当した。学生が患者および看護師体験から、中途障害のある患者の理解が深まり、看護師のかかわりについて考えられるよう教授した。		
3	成人看護学Ⅲ		6	手術治療を受ける患者の看護のNursing Process PBLのチューターを担当した。		
4	成人看護学Ⅳ		6	看護技術演習(食事療法)を担当した。技術の根拠を明確にしなが ら、臨地実習において必要となる基本的知識が押さえられるよう教授した。		
5	成人看護学実習Ⅲ		9	「学内防災設備見学および情報伝達訓練」「救護所設営訓練」を担当した。		

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学実習Ⅱ		2019.5～6	3年次生を対象に内科系病棟にて8週間臨地実習指導を行った。受け持った患者の看護過程が展開できるよう、学生のつまずきに応じ個別指導を実施した。学生が実践の意味づけを思考し、経験から知識・技術・態度を習得できるよう支援した。患者の安全確保と実習環境整備のため、施設側との調整を頻回に実施した。
2	総合実習		2019.7	学生6名を担当し、3週間の臨地実習指導、学内での発表会に向けた指導を担当した。学生個々の学習課題が達成できるよう、施設との調整を行いながら実習指導を行った。また、学生が病棟の中で主体的に行動できるよう見守りながら適宜助言を行った。
3	成人看護学実習Ⅲ		2019.9	災害拠点病院施設見学実習を担当した。
4	IPW実習		2019.1	学生6名を担当した。施設側との連絡調整を行い実習が円滑に進むよう配慮した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業研究	2019.4～12	主指導	4名
2			主指導(指導教員)	名
3			主指導(指導教員)	名
			副指導(指導補助教員)	名
			副指導(指導補助教員)	名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	就職活動支援	2019.4～5	4年の就職支援プロジェクトとして、就職活動準備講座および模擬面接の企画・運営を行い、学生が就職活動本番に向け直前の準備ができるようにした。依頼のあった学生に対しては、エントリーシートの添削、小論文指導を行った。	
2	学生の相談指導	2019.4～3	4年学年担任として担当学生との定期的な面談を実施した。適宜、学生の悩みや困りごとの相談を受け、学生自身が行動できるよう支援した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	IPW総合課程	地域産学連携センター	IPWの実践報告①、②を担当した。	2019.10.11
2	専門職連携ベーシック講座	地域産学連携センター	チーム活動(ディスカッション)のファシリテータ、講義「リフレクションを通じて自己とチームワークを俯瞰する」を担当した。	2019.11
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	春日部市防災会議	委員		2014.7～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発プロジェクト(A-2)		2019年度
2	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会編集委員		2019年度
3	学科等における委員会等	4年学年担任		2019年度
4	学科等における委員会等	就職支援プロジェクト(4年生)		2019年度
5	大学広報活動	オープンキャンパス(教員相談担当)		2019年度
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			

7. 特許の取得		
特許名	特許番号	登録年月
1 該当なし		
8. 特記事項		